

令和3年度 予算の概要

令和3年度は、地域活動拠点の役割を担ってきた地区センターへ指定管理者制度を導入し、小さな拠点による地域づくりを推進。地域力を発揮できる土壌づくりと「ふるさとの森を育み木と暮らすまち条例」と連動した地域林業の活性化、そして、2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の切れ目のない支援を行い、**市民と共に、未来へ踏み出す予算**となっている。

小さな拠点による新たな地域づくり
3事業5施策 **2億5,650万円**
地区センター指定管理・業務委託 (11地区) 1億8,909万円
小さな拠点改修整備事業 3,040万円
鱒沢地区小さな拠点エリア整備事業 400万円

ふるさとの森を育み木と暮らすまち条例との連動
5事業10施策 **8,869万円**
木の温もりに触れる環境づくり事業 2,000万円
森林(もり)づくり支援事業 3,040万円

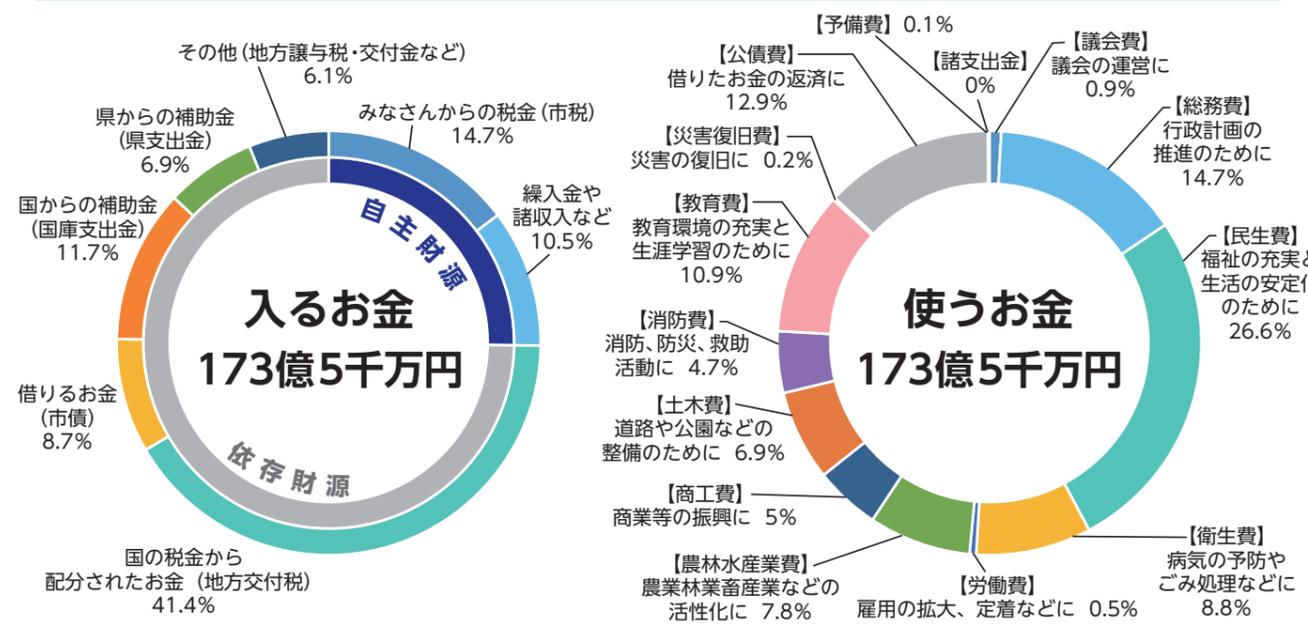
市民と共に、未来へ踏み出す予算

新型コロナウイルス感染症対策
6事業12施策 **9,667万円**
中小企業等事業継続家賃補助金 3,000万円
高い元気回復事業費補助金 800万円
新型コロナウイルス感染症対策観光振興補助金 2,000万円
保育施設等感染症予防対策 317万円
小学校及び中学校感染症予防対策 560万円

注目! 東日本大震災発災10年の節目に、市内外、沿岸被災地のこどもたちの心の拠り所として開所する「こども本の森 遠野」を核とした文化の振興と中心市街地の活性化を図る。

注目! 東北デスティネーションキャンペーンと連動した事業を展開するなど、地域の魅力の発信に取り組む予算となっている。

グラフで見る令和3年度一般会計予算



令和3年3月定例会を、2月22日から3月12日までの19日間の会期で開催しました。今定例会の一般質問では、11人の議員が登壇し、市政を問いました。市が提出した案件は全54議案で、条例9件、令和3年度一般会計当初予算を含む予算15件、人事案件21件、その他9件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

3月定例会

議員 発議
◆発議案第1号
家畜診療の経営安定化支援と獣医療過疎地域の解消に向けた体制整備を求める意見書
岩手県農業共済組合で運営している9カ所の家畜診療所の経営が悪化しており、この4月から宮古診療所が休止となる状況である。畜産農家が安心して生産を継続するための獣医療の危機であり、喫緊の対策として家畜診療運営の安定化・継続性の確保と獣医師確保対策が極めて重要である。畜産県を標榜し、県

議員 意見書
今定例会では1件の議員発議案(意見書1件)が提出されました。

2月臨時会

一般会計補正予算第8号の専決処分の承認と第9号を、いずれも原案のとおり可決しました。
補正予算主な事業
・新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る予算
・ふるさと納税増収に伴う返礼品発送等業務
・道路除排雪業務委託料
・その他新型コロナウイルス感染症経済対策に係る予算

3月臨時会

遠野市ケーブルテレビ設備更新工事の請負契約の締結について

この意見書は、3月12日付けで岩手県知事に送付しました。勢の均衡ある発展を目指す岩手県にあっては、地域性を考慮した財政支援等について、特段の措置を講じる必要がある。